

## 2014 学校間連携会議 連携部会活動総括

部会長 藤崎

部員 小林・大槌・佐藤

### 1 連携部会の活動重点

- ①学校間連携の考察⇒日常業務の中から各校課題が共有された(1年次)。
- ②各校の予算要望へのアプローチ～「日常業務」への意見交流を目的とした討議⇒情報部会の方で担当。

### 2 具体的活動内容

#### ①市費配分予算の運用

##### 成果と課題

- ・基本的に備えるべき備品及び消耗品について更新・充実させるという方向性(確認)
- ・印刷機の運用について⇒各校で観点は違っていても苦慮している実情。
- ・デジタル教科書及びICT機器の整備の在り方(各校の様子から)…書画カメラ
- ・各校独自の環境整備のとりくみについての交流⇒事務班研へ移行

#### ②旅費の運用

##### 成果と課題

- ・旅費執行の基本的な在り方について意見交流を行った。
  - レ一部の職員に偏らない配慮
  - レ研修旅費及び校内研修促進旅費は研修部と協議
  - レ長休中の個人研修は研修(有欠)扱い?
  - レ市内は外勤⇒家庭訪問は外勤?
  - レ市内は外勤⇒家庭訪問は出張扱い?⇒旅費支給及び権利の均等化

#### ③旅費の執行調整

- ・基本的に自校の配分内における執行計画とする。
- ・単年度の想定外の旅費支出について、調整の範囲と考える。
- ・市教委のプール計算の運用と連携会議の調整の考え方をすり合わせたい。

※ 2014年度の各校の旅費経理簿を集約させてもらいたい。

#### ④市費配分予算の執行調整

- ・公費の有効活用と市教委との連携強化の観点からも継続していきたい。
- ・修繕料及び教材備品費～集約すると高額になるため、今年度内の緊急性があるもの及び全市的なとりくみとしての運用が望まれる。